



暗記・英国式

(昨日から続く)

- 4 英表 テスト返し
S藤先生(担任注: K藤先生です) 趙
個人的説
- 5 日本史 I戸先生への意見・要望集 平
治の乱
確かに進みは遅い(笑)
- 6 コミュ英 culture destruction
難しい...
- 7 古典 土佐日記
あらざんなり

○やっと一週間が終わって嬉しいです。テストがあったのが遠い昔に感じます。

*

先週の話の第一は、生物平均第1位であろうか(笑)。日誌には「みんなで拍手しました」と書いてあるが、F川先生に何うと、「まるで梁田賞か星陵大賞をとったかのような騒ぎでしたよ。●●くんとは、ハイタッチまでしてしまいました。」とのことである。まあ、とにかく「13ルームの開花」ということで、めでたいことである。

ついでに、コミュ英のまち子先生も、「考査の結果はすごくよかったですよ〜」それに、ALTの先生方が13Rが一番楽しいって言ってますよ〜」と話しかけて下さった。

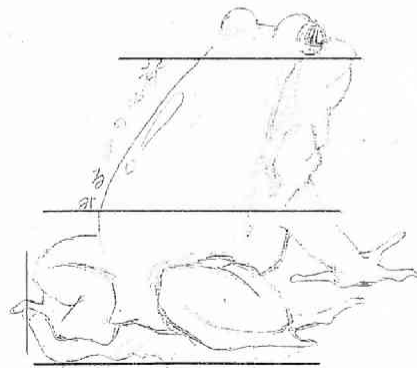
とにかく、後期を後期としてしっかり過ごしてくれているようで何よりである。一つ一つの知識はつまらないように思えるかも知れないが、そういう一つ一つの知識が結びついて力を発揮するのである。しかし、そういう一つ一つの個別の知識がまず自分の中に存在しなければ、それは結びつきようがない。だ

から、暗記をバカにしないで、とにかく習ったことは全てため込むつもりで暗記することが中学・高校時代には大切だ。暗記ばかりしていると考える力がつかないという大きな誤解があるが、考えるための元手が自分の中になければ、いくら考えても、底の浅い結論にしかたどり着かないのである。

*

土曜日に2年生はケンブリッジ英検を受けたが、感想を聞いてみたら、Listneingでは発音が英国式で、聞き取りにくかったとのことである。授業や日常生活で聞く英語は、アメリカ発音だからだろう。1年生も3月に全員が受験する。英国式発音にふれる機会があったら、積極的に活用しよう。

遅刻者 →
の 相対



学級日誌